



校長室だより

校長 山崎 聡子

修学旅行

10月13日（金）から14日（土）に、1泊2日で、6年生が日光修学旅行に出かけました。2日間ともいい天気にも恵まれ、気持ちのよい天候の中で修学旅行を実施することができました。

修学旅行の中で、子供たちの素晴らしい姿がたくさん見られました。日光ならではの美しい自然に触れる中で、子供たちは、「きれい」「すごい」等、感動する思いを素直に表現し、輝いた表情で景色に見入っていました。上りも下りもいろは坂から見える雄大な景色、紅葉に彩られた竜頭の滝戦場ヶ原、迫力のある湯滝、くっきりと姿を現していた男体山、2日目の朝に散策した湯ノ湖と朝日が差す山々、虹がかかる華嚴の滝…。美しい自然から得る感動、それを仲間と共に共有できたことは、子供たちの心に刻まれた思い出となったことと思います。

世界遺産である日光の社寺は素晴らしく本物に触れることは、貴重な経験となりました。東照宮では、案内人の方による説明を伺いながらクラスごとに見学しました。見学の際は、案内人の方の話をよく聴き、東照宮の様子を真剣な表情で見ている姿が印象的でした。事前の学びがさらに深まったのではないかと思います。

食事の時間も皆で和やかに過ごすことができました。感心したのは、食事の片付けの様子です。テーブルごとに、同じ食器を集めて重ねていたり、ゴミも一か所に集めていたり、片付けてくださる方々のこと

を考えて行動していた姿は素晴らしいものでした。さらに、汚れてしまったテーブルを拭いたり、テーブルの下にゴミが落ちていないか確認したりする姿も見られ、大変嬉しく思いました。

旅館では、班長会議が行われましたが、時間を見て行動し、毎回時間より早く班長が集まりました。時間を意識して行動し、班長としての役割を責任をもって担っていました。班長をとおして各班に伝えられた内容に沿って、皆で声を掛け合いながら助け合って行動していた姿もたくさんありました。

江戸ワンダーランドでは、グループの仲間と協力し合って過ごせるように、温かく声を掛け合う姿がありました。皆で楽しく過ごせるための方法を提案する友達の話に耳を傾けて、自分の行動を見直す子供の姿もありました。また、劇場が満席になってしまい、待ち合わせしていた仲間が入れないことを気遣う子供の姿もありました。優しくすてきな姿だなあと思いました。

バスを降りる際には、友達の忘れ物はないか気かけ、声をかける子供の姿もありました。友達を思う優しい姿でした。

この2日間、普段の生活の中では味わうことができない経験をする事ができました。また、自分たちを支えてくださる多くの方々との出会いをとおして、感謝する思いも引き出されたことと思います。そしてお互いを思い合う友達の言葉や行動に触れ合う中で、一人一人が成長する貴重な時間となりました。保護者の皆様を始め多くの関係者の方々に感謝申し上げます。